



YIC 調理製菓専門学校長 須内章雅  
Sunouchi Akimasa

## ○ 同窓会

コロナ禍のため 3 年間開催できなかった同窓会総会と懇親会を 23 日に山口グランドホテルを会場にして再開することができました。平成 13 年(2001 年)に山口調理師専門学校として開校して以来今年が 23 年目、これまでの卒業生は 1448 名を数えます。今回参加できた同窓生は 40 名少々でした。それぞれに仕事も忙しいであろう中で都合をつけてきてくれた卒業生に感謝です。



私は同窓会の名誉会長という立場になっているようで、その挨拶をするという役目がありました。事前に内容項目をいくつか考えてみました。私は昨年校長として着任し、今年が 2 年目の新米であること、実は調理・製菓の専門ではないこと、しかしそのために毎日の実習を参観して感動していること、美術・工芸の分野とはものづくりという面では関連があるということ、開校以来の年月(23 年目)のこと、卒業生の数(1448 名)のこと、日々多忙であると想像されるが本日 60 名を超える参加に感謝したいこと、久しぶりの再会を喜び様々な情報交換をしたいということなど、いろいろなことを構想していました。しかし皆さんの顔を壇上から拝見すると「早くみんなと話がしたいなあ。」というふんい気を感じたので項目はたくさん端折って手短かに終わりました。

昨年から YIC 学院の仲間になりましたので、将来的にはグループ内の他校と合同同窓会をしては? という構想もあります。メリットは他業種との交流による情報収集とモチベーションアップなどがあるでしょう。調理・製菓という仲間内で行うよさもあるでしょう。どんな方法がよいのかと考えたときベストな案はなさそうですが、よりベターな案をこれから考えていくことになりますね。

ちなみに今までの慣例で、本校の同窓会を運営していく中心はつい最近卒業した学生代表の皆さんです。司会進行なども緊張感がひしひしと伝わってきました。自分が作った料理をお客様の前で紹介するような場面も将来的にはありうることで、よい経験になったのではないかと思います。

## ○ 自校自賛

今回感動したことの一つ、第 1 期生として 70 歳を超えて入学され、立派に卒業された後もお元気で、今年 90 数歳になっておられる女性と出会うことができました。何を見習っていいのやら!ただただ尊敬に値すると思いました。おしゃれで品がよく美しい方です。